

会 員 各 位

一般社団法人日本トンネル技術協会
事業委員長 入 江 健 二

公印略

山岳トンネル維持管理業務講習会(実践編)開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動には種々ご支援賜り誠に有り難うございます。

さて、維持管理業務講習会(基礎編)に引き続き(実践編)を、下記のとおり実施することといたしました。基礎編では、現場での点検作業に従事することができるレベルの技術者の育成を目的としていました。実践編では、現場での点検作業に加えて、診断や補修・補強等の措置に関して指導できるレベルの技術者の育成を図ることを目的として実施します。

山岳トンネルの維持管理業務に携わる技術者の皆様にとりまして、施工事例をふまえた大変有意義な講習会と存じますので、多数ご参加くださいますようご案内いたします。

なお、本研修会は公益社団法人土木学会のトンネル工学委員会後援事業でもありますことを申し添えます。

敬具

記

1. 開 催 日：令和2年 1月31日(金) 9:30~17:00
2. 会 場：コンワビル13階第2・3会議室
〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビルTEL：03-3543-3101
3. プログラム：別紙のとおり
4. 定 員：40名
5. 参 加 費：個人会員16,000円、団体会員18,000円、一般22,000円
(テキスト代、消費税を含む。)
6. 申込方法：下記申込書に氏名、年齢、所属、電話番号を記入のうえ当協会宛
Eメール event@japan-tunnel.org または FAX03-5148-3655 をもってお申込下さい。受付番号をお知らせします。
7. 支 払 方 法：上記申込ののち、郵便振替用紙通信欄に行事名と参加者氏名、受付番号を記入のうえ下記へお振込願います。現金書留でも結構です。
郵便振替口座 00160-7-196331、加入者名 一般社団法人日本トンネル技術協会
行事名 維持管理業務講習会(実践編)
住所 〒104-0045 中央区築地2-11-26 築地MKビル6階 TEL:03-3524-1755
8. そ の 他：
 - ①参加費の払戻しはいたしません。ただし、団体会員と一般の参加者の代理参加は可能です。
 - ②申込みに係る個人情報につきましては、他に利用するものではありません。
 - ④土木学会の継続教育プログラムに申請中です。後日ホームページに掲示いたします。
 - ⑤問合せ先は、一般社団法人日本トンネル技術協会 TEL03-3524-1755 催物係りまで。

「山岳トンネル維持管理業務講習会(実践編)」申込書

下記のとおり申込みいたします。

参加者氏名： <small>まじりがな</small>	年齢：
会社名：	TEL： — —
所属役職：	
会員の種別： <input type="checkbox"/> 個人会員、 <input type="checkbox"/> 団体会員、 <input type="checkbox"/> 一般（非会員） <input type="checkbox"/> にレ印願います。	
備考：	

----- 会場案内図 -----

東京メトロ 日比谷線 東銀座駅 5出口より 徒歩2分

東京メトロ 日比谷線 築地駅 1, 2出口より 徒歩3分

〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル TEL：03-3543-3101



山岳トンネル維持管理業務講習会(実践編)プログラム

開催日：令和2年 1月31日(金) 9:30～17:00

会場：コンワビル13階第2・3会議室

- 09:30～09:40 (10) 講習会の取組み
小瀬 喜巳
東日本旅客鉄道(株) 構造技術センター 主席
(内容：講習会の目的と概要、保守管理の現状)
- 09:40～11:00 (80) トンネル変状に対する調査と診断…………… 太田 裕之
応用地質(株) 技術本部 技師長
(調査時の注意点、調査結果を踏まえた健全性判定ならびに調査方針の考え方)
- 11:00～11:10 (10) 休憩
- 11:10～12:10 (60) 診断に基づいた措置…………… 野城 一栄
(公財) 鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部 トンネル研究室長
(診断に基づいた措置(剥落防止・外力・漏水対策)の体系的な考え方)
- 12:10～13:10 (60) 昼食
- 13:10～14:10 (60) 道路トンネルの補修補強…………… 中野 清人
(株) 高速道路総合技術研究所 道路研究部 トンネル研究担当部長
(変状の概要と大規模更新事業の方針、インバート補強事例について)
- 14:10～14:20 (10) 休憩
- 14:20～15:20 (60) 鉄道トンネルの補修補強…………… 渡邊 明之
東日本旅客鉄道(株) 構造技術センター 次長
(変状の概要と路盤隆起や剥落対策など補修・補強の事例について)
- 15:20～15:30 (10) 休憩
- 15:30～16:20 (50) トンネル構造物の管理者のあり方…………… 木村 定雄
金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科 教授
- 16:20～16:30 (10) 休憩
- 16:30～17:00 (30) まとめ
(前掲)小瀬 喜巳
(内容：確認試験、アンケート実施)